

2023年3月期 決算補足説明資料

2023年5月11日

スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

株式会社 昭和真空

証券コード：6384

東証スタンダード

2023年3月期決算概況 【2022年度】

2022年度 決算概況 (連結)

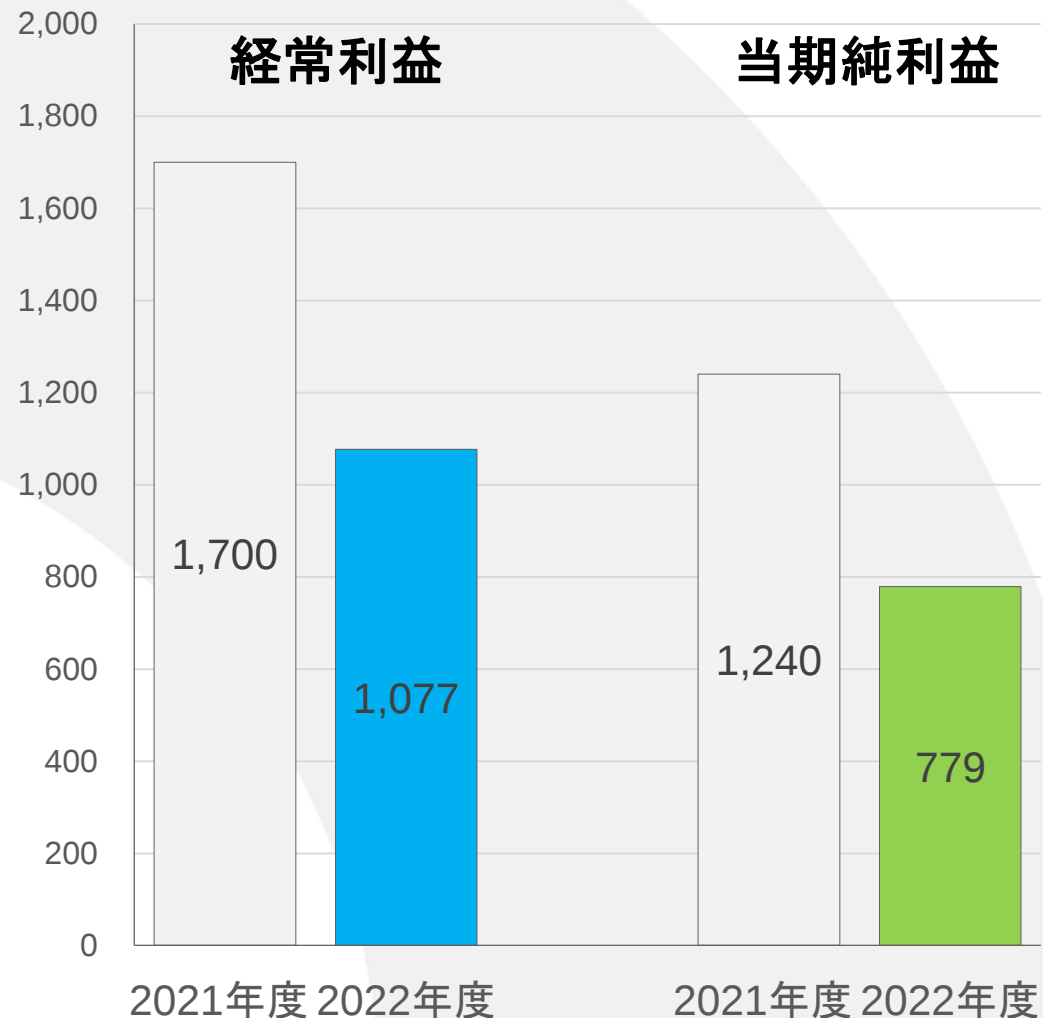
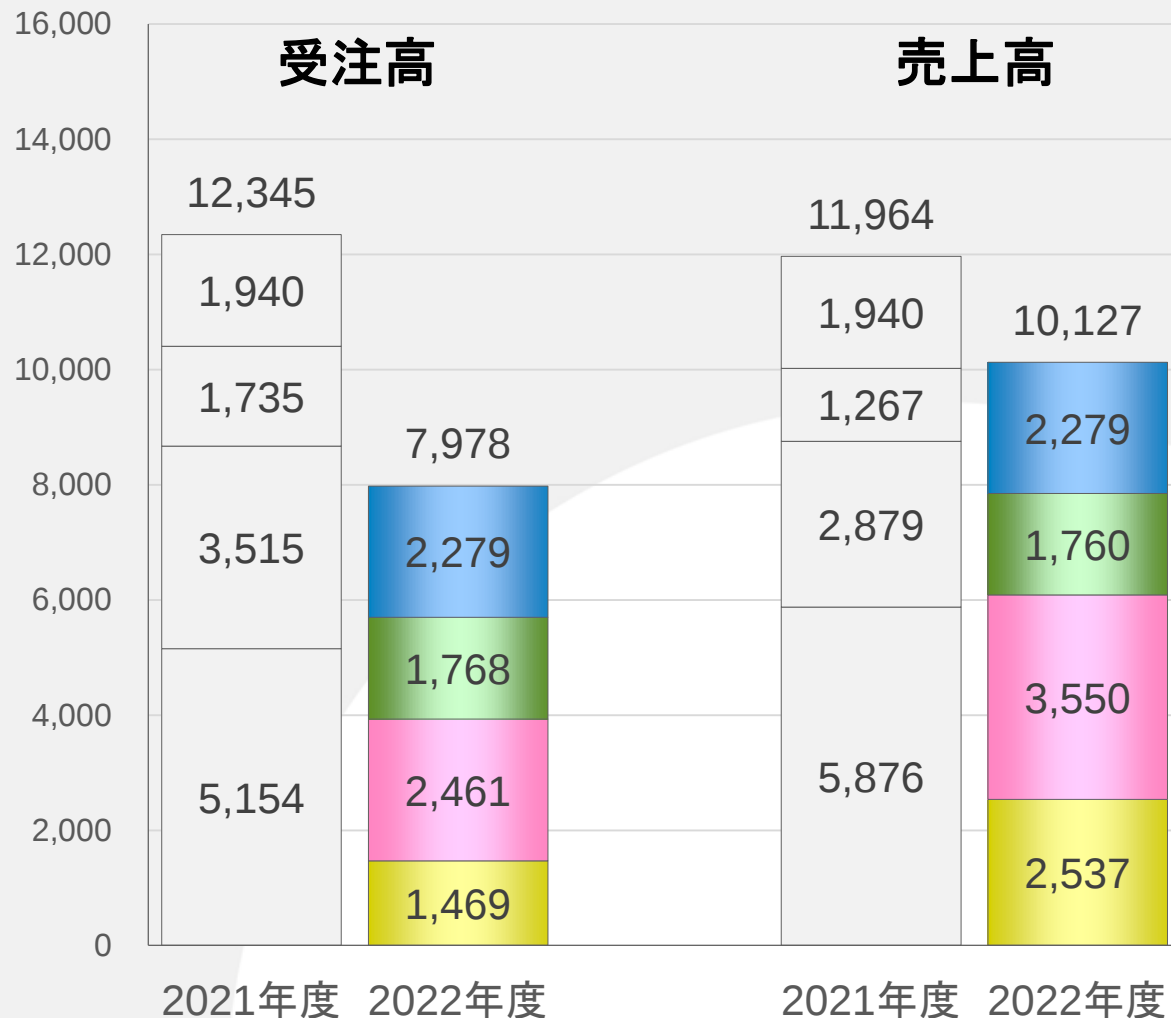
(百万円)	2021年度		2022年度			
	実 績		実 績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受 注 高	12,345	—	7,978	—	▲4,366	▲35.4%
売 上 高	11,964	100.0%	10,127	100.0%	▲1,836	▲15.3%
営 業 利 益	1,670	14.0%	1,017	10.1%	▲652	▲39.1%
経 常 利 益	1,700	14.2%	1,077	10.6%	▲623	▲36.6%
当 期 純 利 益	1,240	10.4%	779	7.7%	▲460	▲37.1%

2022年度の事業概況

受注・売上・利益（連結）

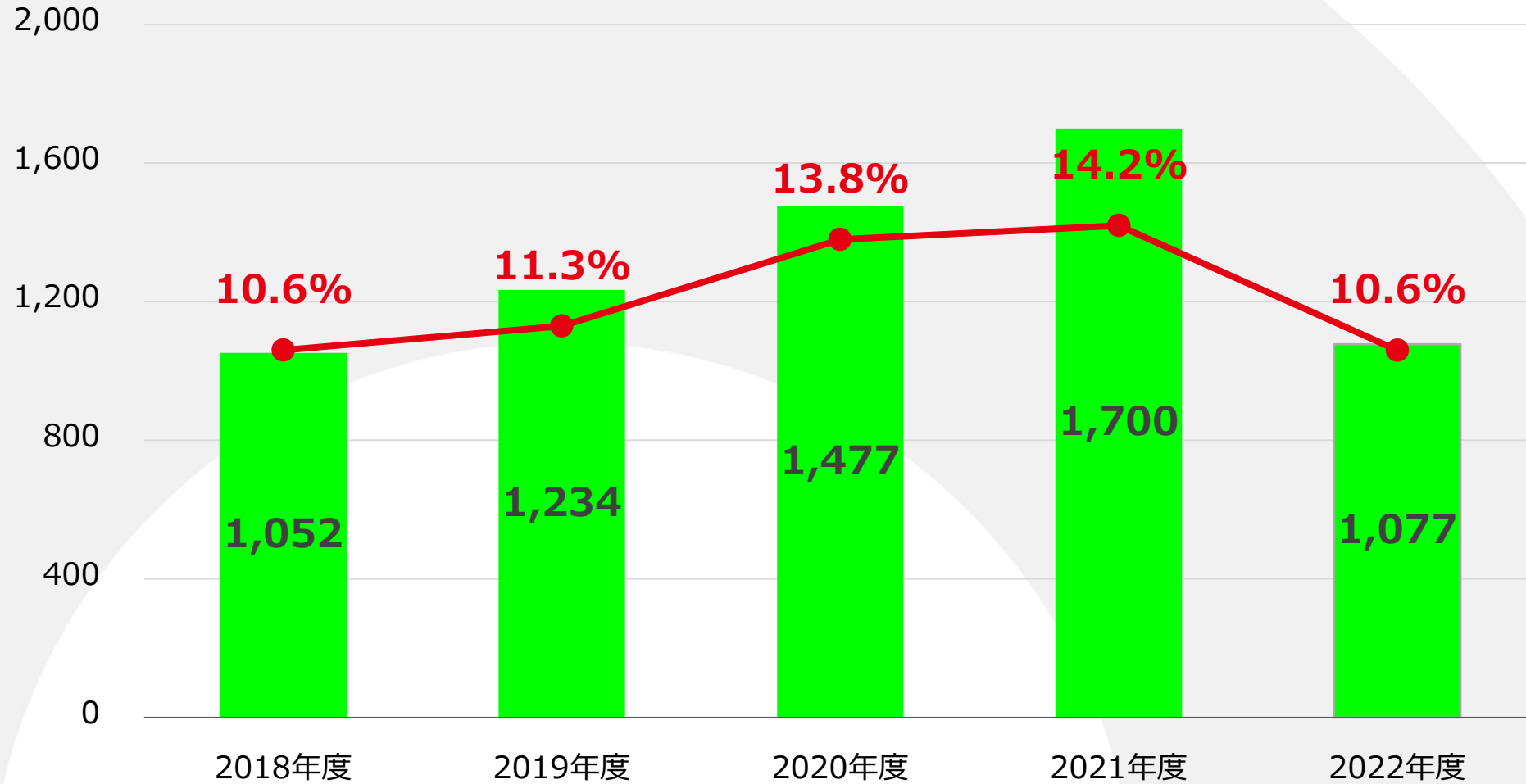
（単位：百万円）

■ 水晶 ■ 光学 ■ 電子他 ■ サービス



経常利益の推移 (直近5か年、連結)

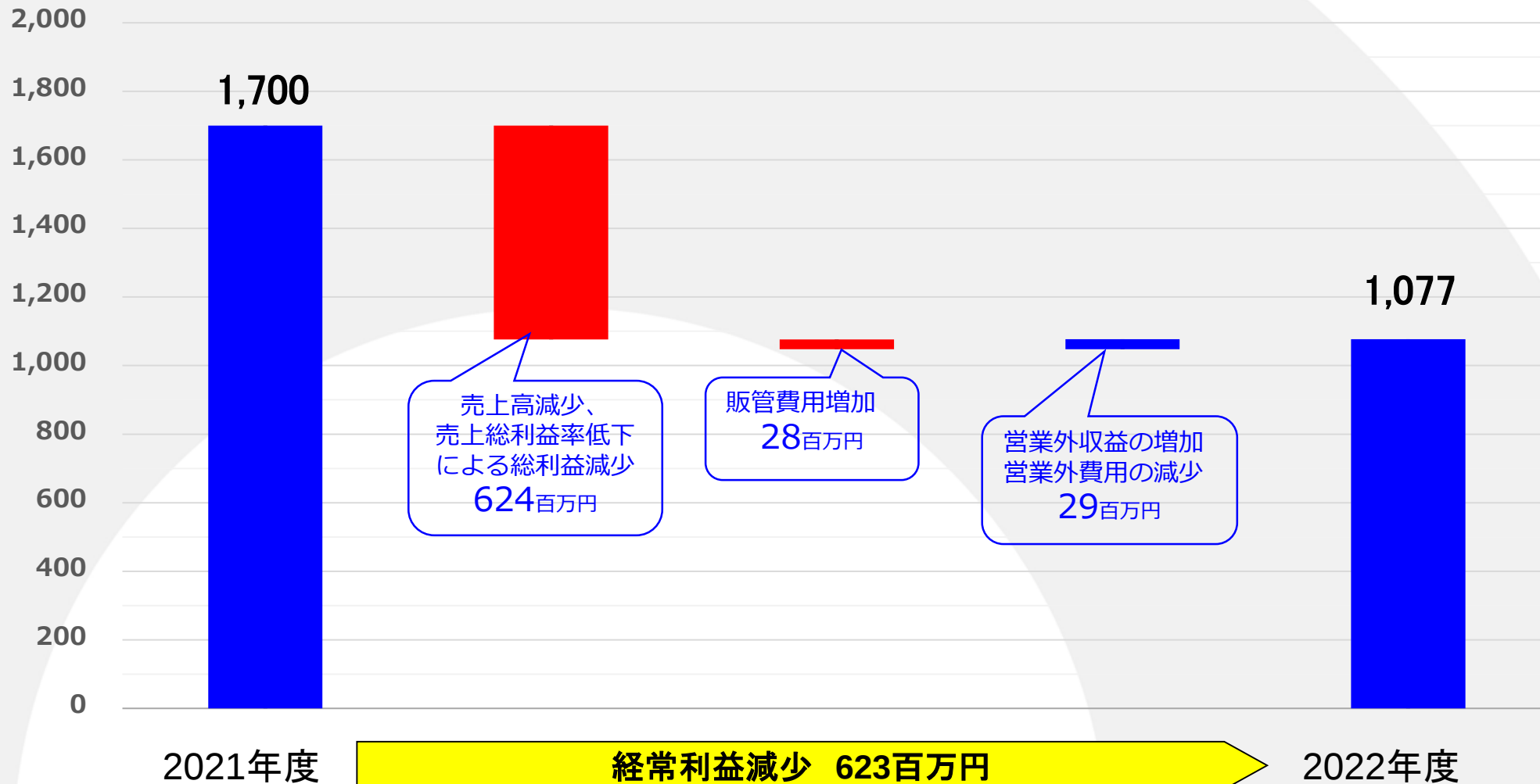
(単位：百万円)



売上高	9,943	10,934	10,719	11,964	10,127
-----	-------	--------	--------	--------	--------

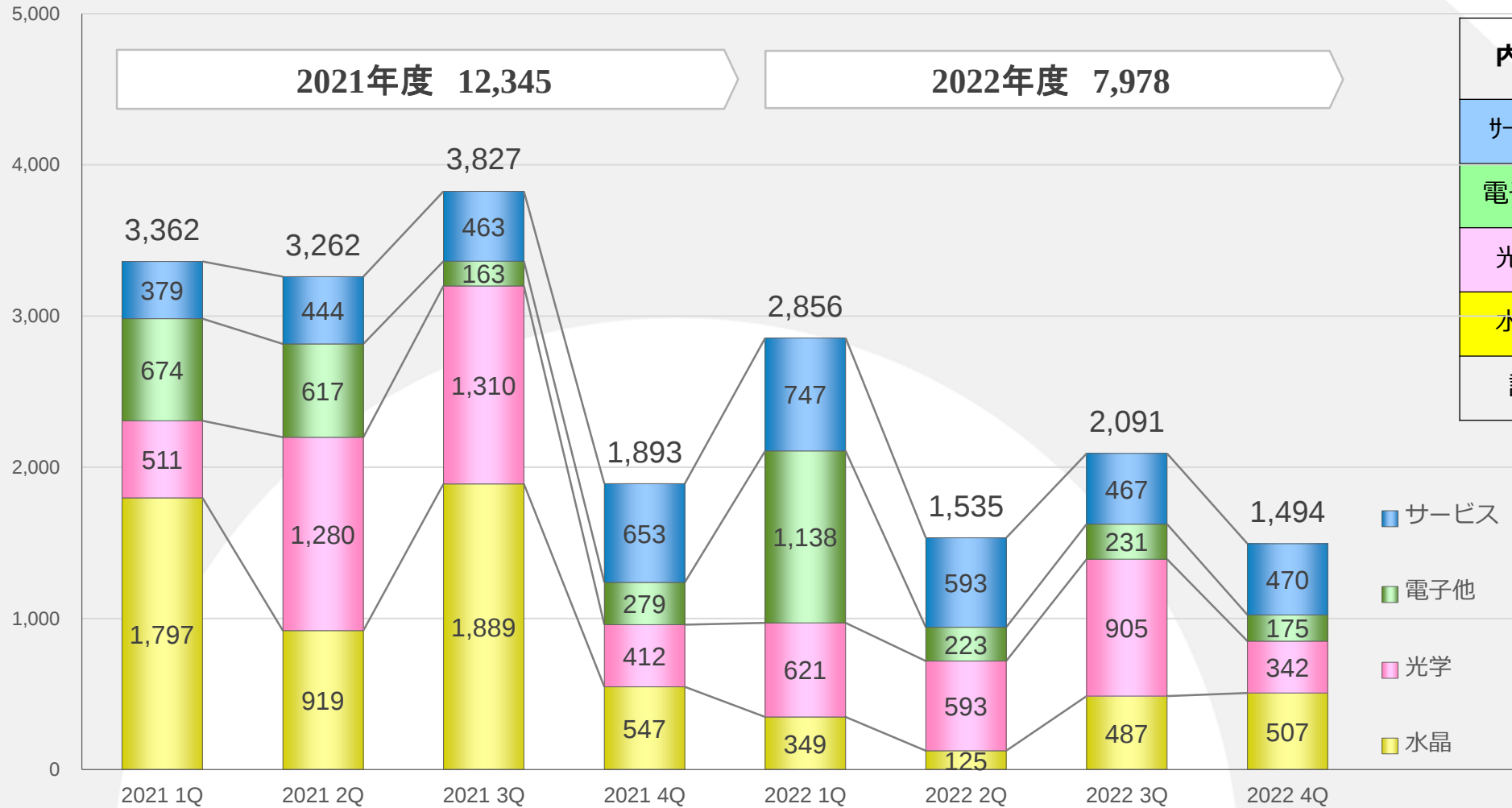
経常利益の増減要因分析 (連結)

(単位：百万円)



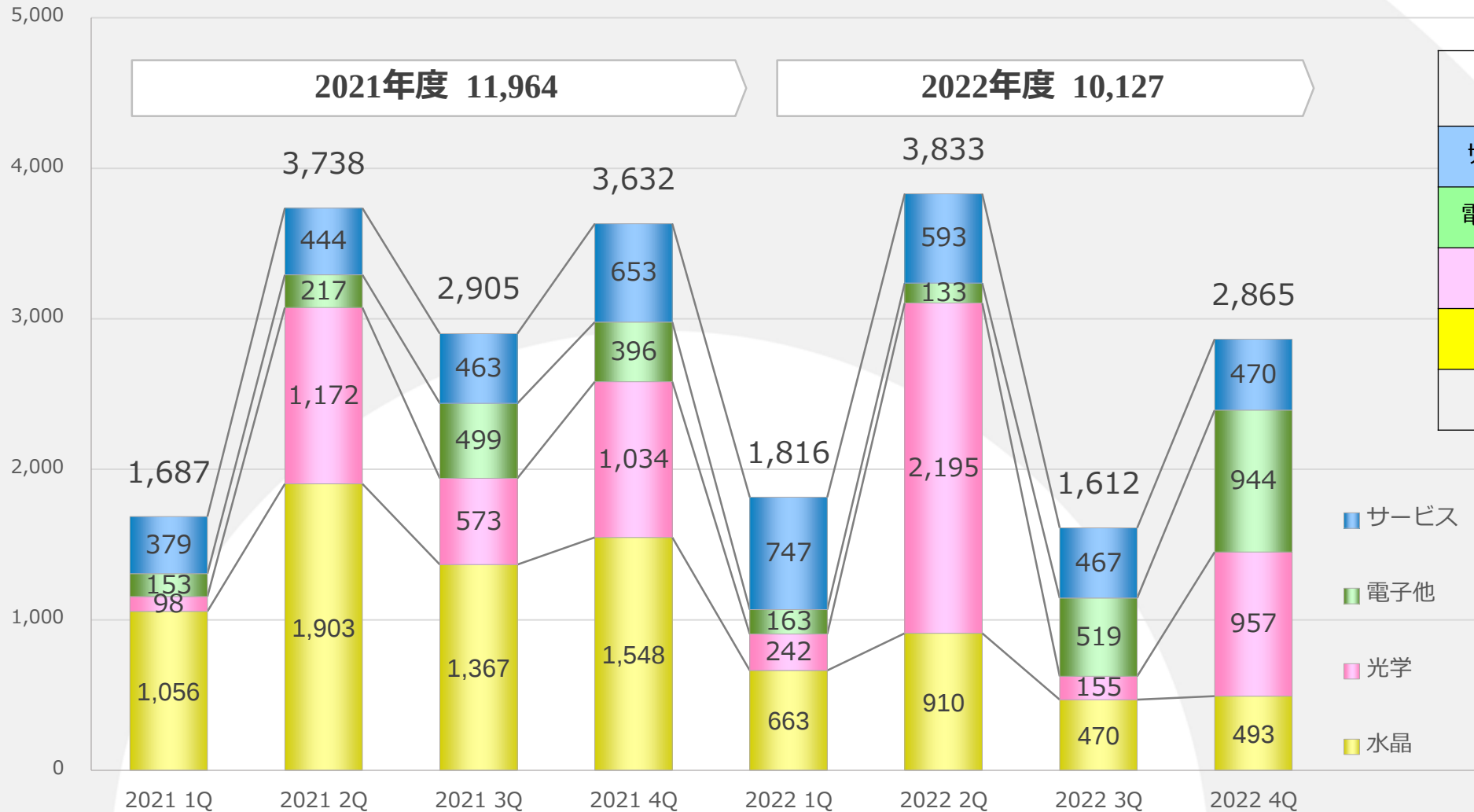
受注高業界別推移 (四半期、連結)

(単位：百万円)



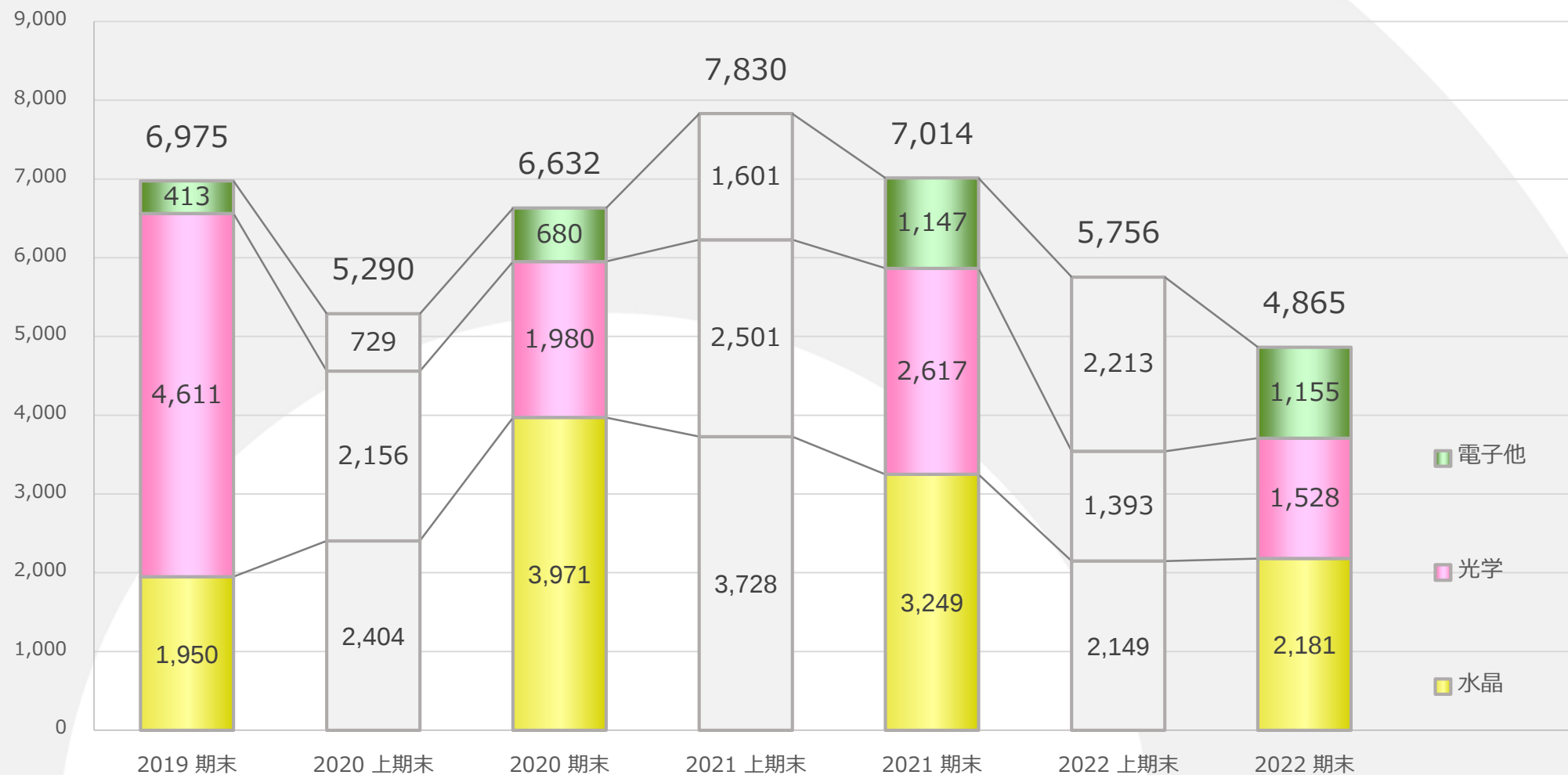
売上高業界別推移 (四半期、連結)

(単位：百万円)



内訳	2021 通期	2022 通期
サービス	1,940	2,279
電子他	1,267	1,760
光学	2,879	3,550
水晶	5,876	2,537
計	11,964	10,127

(単位：百万円)



貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)

	2021度末	2022度末	増減額	主な増減要因
資産合計	17,398	15,467	▲1,930	
流動資産	13,389	11,576	▲1,812	現金及び預金 ▲260 売上債権 ▲1,079 原材料 266 仕掛品 ▲684
固定資産	4,008	3,891	▲117	有形固定資産 ▲36 投資有価証券 ▲16 繰延税金資産 ▲42
負債合計	6,341	3,948	▲2,392	
流動負債	5,376	2,934	▲2,442	仕入債務 ▲1,207 未払法人税等 ▲278 前受金 ▲890 賞与引当金 ▲109
固定負債	965	1,014	49	退職給付に係る負債 35
純資産合計	11,057	11,519	462	

借入依存度 3.9%

自己資本比率 74.5%

固定比率 33.8%

キャッシュ・フロー計算書 (連結)

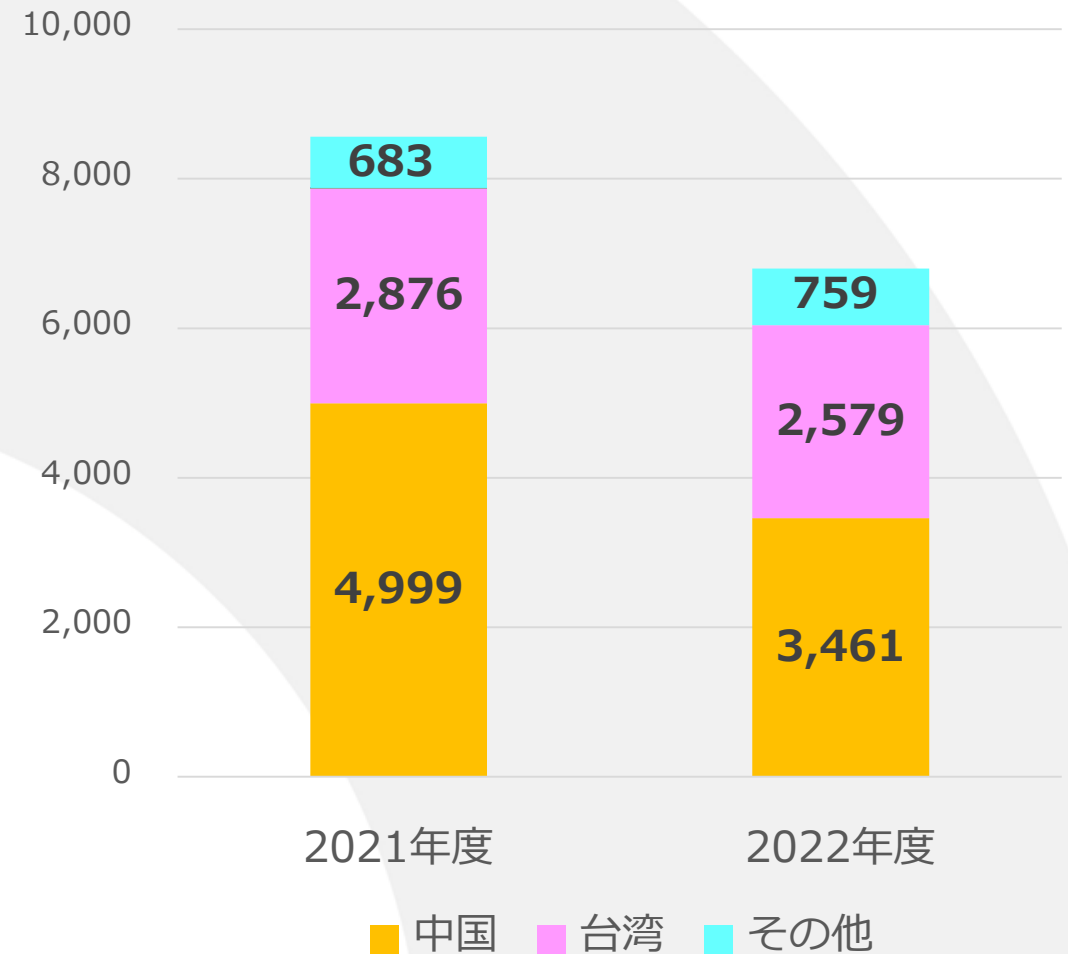
(単位：百万円)

	2021年度	2022年度	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	113	211	税金等調整前当期純利益 1,083 売上債権の減少 1,086 たな卸資産の減少 418 仕入債務の減少 ▲1,230 前受金の減少 ▲890
投資活動によるキャッシュフロー	▲201	▲169	有形固定資産の取得 ▲168
財務活動によるキャッシュフロー	▲347	▲382	配当金の支払 ▲372
現金及び現金同等物に係る換算差額	151	77	
現金及び現金同等物の増減額	▲284	▲263	
現金及び現金同等物の期首残高	5,296	5,012	
現金及び現金同等物の期末残高	5,012	4,748	

輸出先国別売上高推移 (連結)

(単位:百万円)

	2021年度	2022年度
中国	4,999	3,461
台湾	2,876	2,579
タイ	254	213
インドネシア	79	157
フィリピン	75	131
その他	273	257
合計	8,558	6,800
輸出割合	71.5%	67.1%



1. 戦略装置の開発および市場投入に向けた取組み継続
2. デバイスメーカの次世代電子部品開発への取組姿勢は継続
3. スマートフォンを含めた最終製品の出荷が低調に推移、設備投資は1年を通して様子見姿勢が継続したため期初受注計画は未達
4. 顧客事情（工場建設遅延、設備導入計画変更、装置仕様変更）等による売上計上時期後倒し、資機材長納期化による受注案件の納期長期化等により期初売上計画は未達
5. 初期不良抑制、生産効率化、固定費削減に努めるも、開発要素の高い装置の売上計上や量産効果のある売上が少なかったこともあり期初利益計画は未達
6. 中国における上海ロックダウンやゼロコロナ政策緩和直後の感染者急増により当社子会社も影響を受けたが、期末時点では通常稼働
7. 資機材長納期化に対し、代替品への置換え、工程調整などによる案件間振替え、予測に基づく先行発注などを継続的に実施し影響軽減

2024年3月期の見通し 【2023年度】

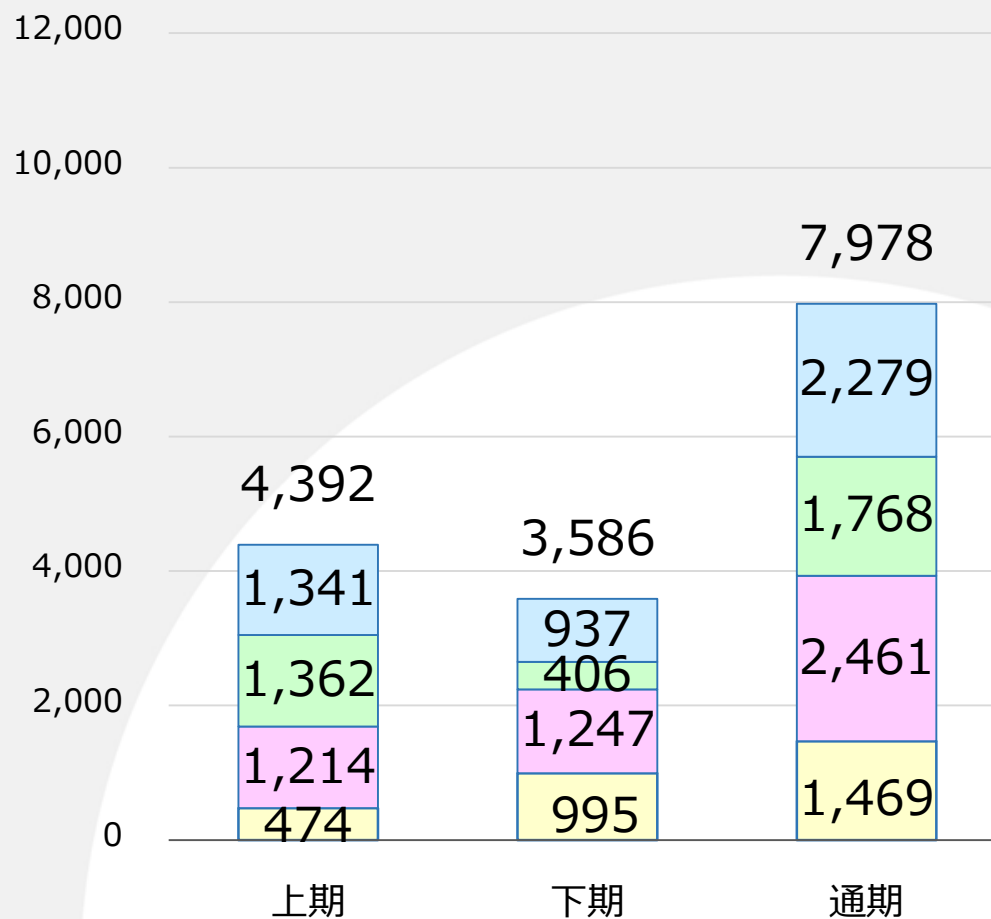
2023年度 連結業績予想

	2022年度		2023年度 業績予想			
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
受 注 高	7,978	—	10,000	—	2,021	25.3%
売 上 高	10,127	100.0%	10,260	100.0%	132	1.3%
営 業 利 益	1,017	10.1%	784	7.6%	▲233	▲23.0%
経 常 利 益	1,077	10.6%	816	8.0%	▲261	▲24.3%
当 期 純 利 益	779	7.7%	570	5.6%	▲209	▲26.9%

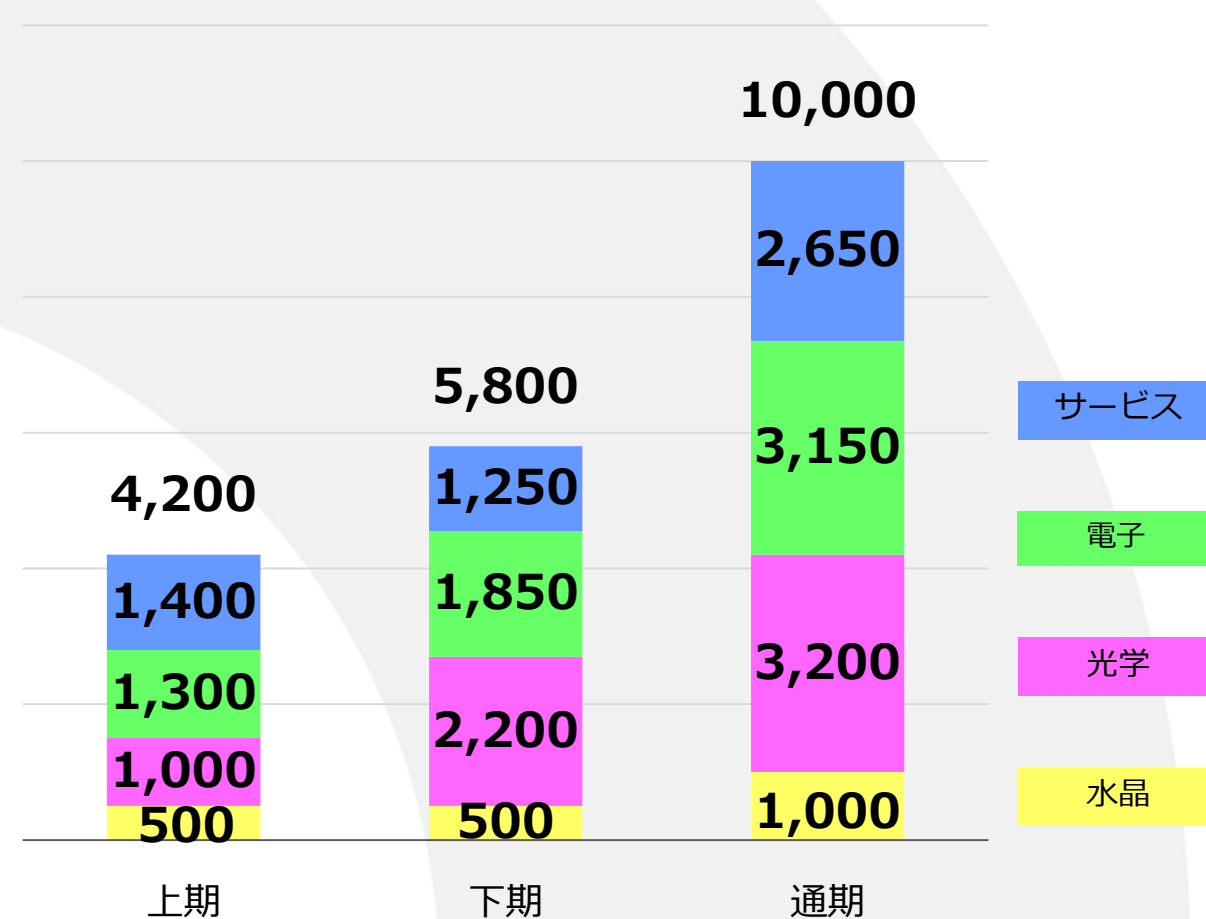
※ 実際の業績等は、今後の社会状況や経済状況の推移によっては大きく異なる可能性があります。

(単位：百万円)

【 2022年度 】

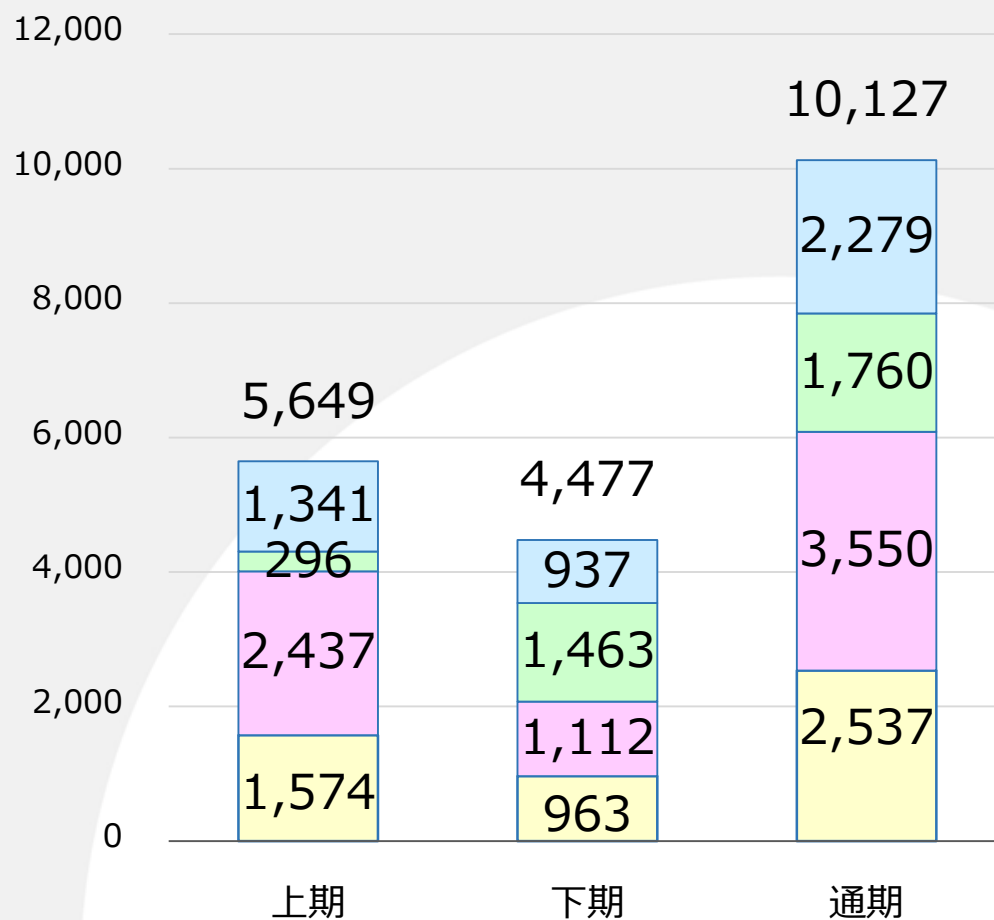


【 2023年度計画 】

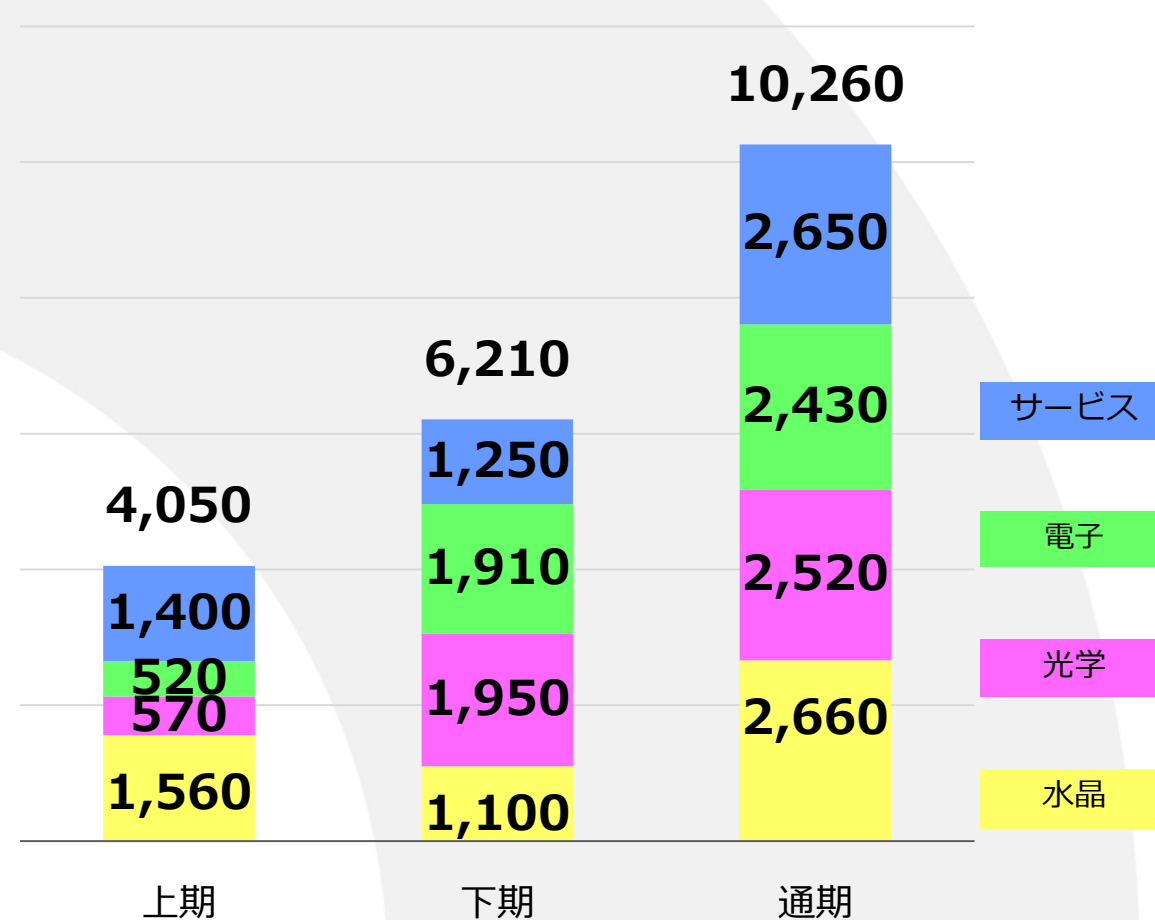


(単位：百万円)

【 2022年度 】

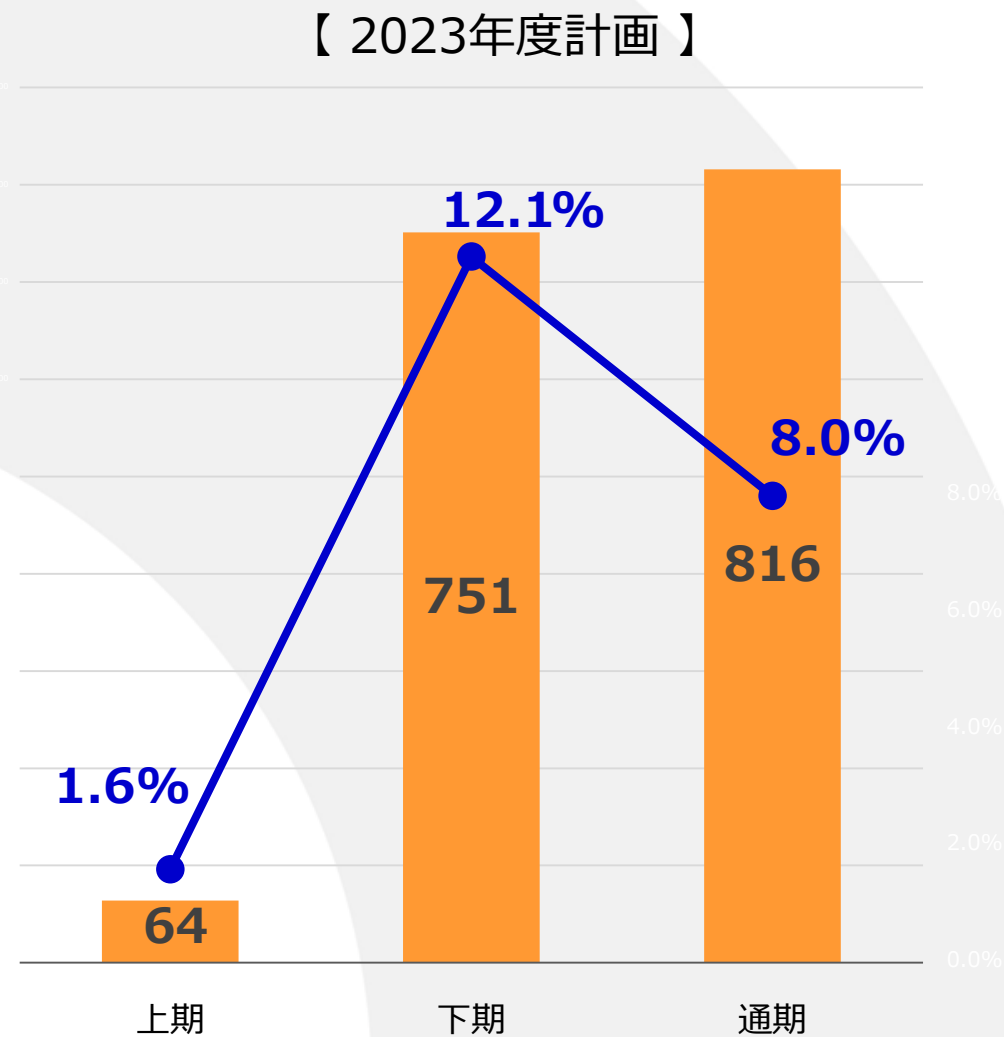
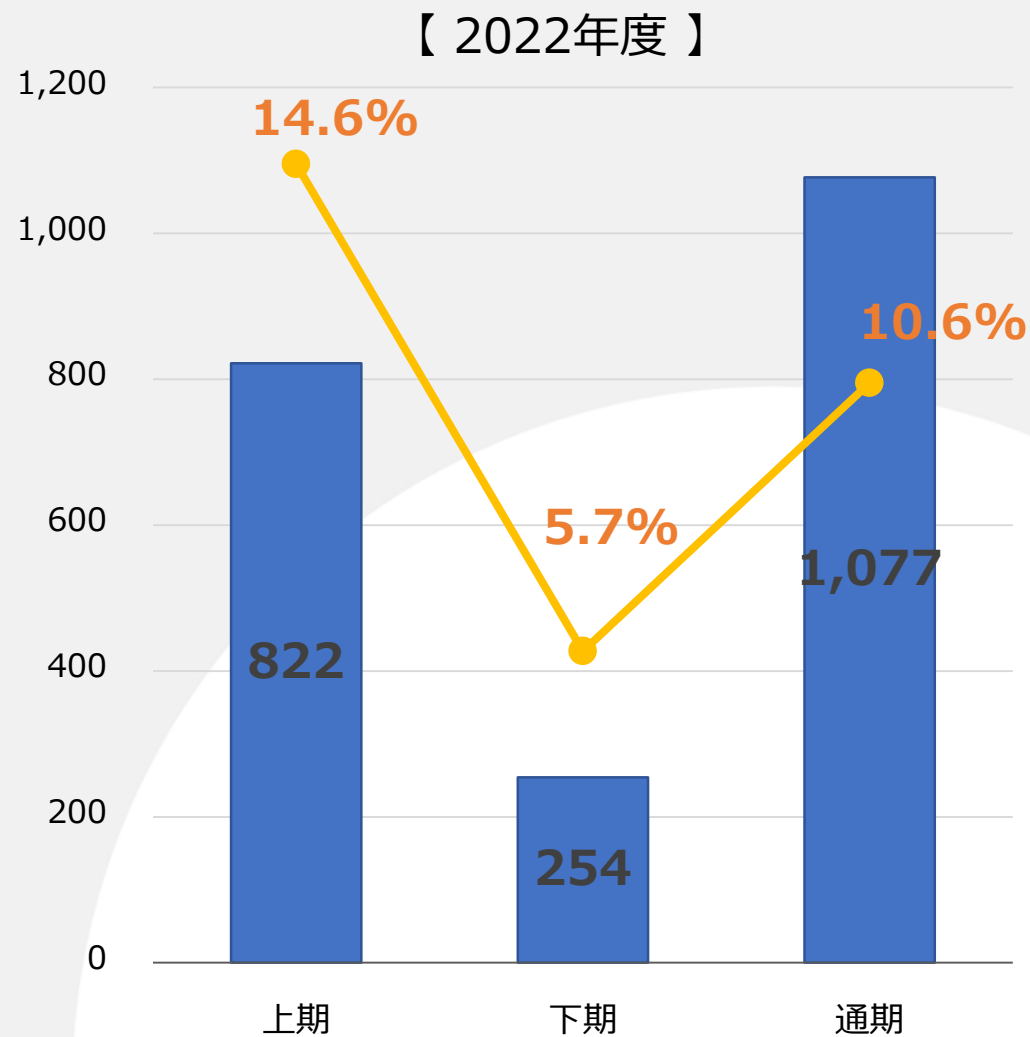


【 2023年度計画 】



2023年度 経常利益（率）（連結）

（単位：百万円）



(単位: 百万円)

	2022年度	2023年度計画
設備投資額	299	166
研究開発費	533	600
減価償却費	263	279

1. 戦略装置の開発と市場投入（各分野）
 - 水晶・光学市場向け次世代装置のプロセス技術確立
 - 新市場向け開発装置の量産仕様確立
2. 依頼実験対応力強化による受注拡大
 - 顧客要求仕様明確化による実験期間短縮、要求仕様クリア率向上
3. 装置標準化対象機種拡大及び受注案件への展開
 - ユニット単位の原価管理による利益率向上
4. 品質保証部門主導の設計DR（Design Review）実施による品質向上
 - 顧客要求仕様に対する妥当性検証強化（設計初期段階から関与）
 - 当初工程に基づくDR実施による設計進捗管理強化
5. 海外子会社との連携強化
 - 中国・台湾の営業体制強化
 - 中国子会社での生産機種拡充
6. 資機材の長納期化への対応（継続実施）
 - 予測に基づく先行発注、代替品切替、資機材毎の納期を踏まえた柔軟な生産体制等

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。



株式会社 昭和真空
SHOWA SHINKU CO., LTD.